

いじめのない学校・大津市をめざして

現場の声を第一に「いじめ解決はみんなの力で

日本共産党の提案

- ①「いじめ」から、子どもたちのかけがえない命、心身を
守り抜く
- *子どもの命を最優先し、ささいに見えても教職員と保
護者で情報を共有し対応する
- *子どもの自主的活動の比重を高め、いじめの起きにくい
人間関係をつくる
- *被害者や遺族の、真相を知る権利を尊重する
- ②「いじめ」解決を支える条件整備、教育や社会の改革を

2月市議会では、

「大津市いじめの防止
に関する条例」が議員
提案され、賛成多数で
採択されました。党市
議団は、以下の問題点
があると指摘し、条例
の制定に反対しました。

○第三者調査委員会や
教育委員会の報告が出
されたところであり、
今の段階で条例で結論
づけるべきではない。

○当事者である子ども
や教職員、保護者の意
見を反映させることに
時間をかけるべき。

○教育内容を義務づけ
るなど、学校現場の自
主的な取り組みを阻害
するおそれがある。

○「愛情をもって育む」
など、内心に関わる規
定は、条例で義務
づけるものではな
い。また、子ども
の役割を示すこと
は、「できるのに
しなかった」と子
どもを追い詰める

そうした子どもたちの
豊かな活動が展開でき
るよう、安心して生き
る権利・ありのままの自
分での権利などの保障
や、豊かな活動が展開
できるよう少人数学級
の推進、教員の増員な
どでゆとりを持った教育
環境を整備するなど、
取り組みを支えていくこ
とが必要だと考え
ます。

いじめ対策担当教員と懇談

教育厚生常任委員会

「教員がたりない」「少人数学級を」など
現場の切実な声を聴く

3月6日、市議会・教育厚生常任
委員会では、小中学校のいじめ対策
担当教諭との懇談をおこない、学校
現場や子ども・保護者をめぐる実態
を聴きました。

●早期対応が一番だが、子どもたちの
人間関係は複雑で、正確な情報をつか
むのが難しい。

●生徒指導や相談、職員の資質向上、
対外業務など様々な仕事を兼務してい
て、職員の連携が必要だが余裕がない。

●個々の家庭状況も厳しく、保護者へ
の伝え方、後々のケアなどを考え、慎
重に対応している。

また、現場での取り組みについて
は、コミュニケーション能力を高め、
「おかしい」「イヤ」がしっかり言
える力をつけることや、「いいとこ
ろ探し」など、授業の中で自己肯定
感が高められるような取り組みを進
めているとのことでした。

私たち議員も学校を訪問し、しっ
かりと現場の様子を知ることが求め
られています。

原発のない社会へ
3・10琵琶湖集会

東日本大震災、福島原発
事故から丸二年。原発ゼロ
の願いを込めた集会に延べ
1000人が集まり、党市
議団も参加しました。集会
には愛荘町長、日野町長が
連帯の挨拶を、滋賀県農業
共同組合中央会からはメッ
セージが届けられました。

市政TOPICS

■市民のみなさんの願いが実り、
新年度からスタートします↓

- ・中学校にエアコン設置…順次、
小学校、幼稚園にも
- ・病児保育が市中部・南部でも
スタート
- ・木戸リサイクルセンターがオー
プン…子ども用品を中心にリサイ
クル。ものづくり教室や貸し
館も。
- ・障がい者の就労移行支援事業
…卒業後社会性や生活力を身に
つける機会ができました。
- ・特別養護老人ホームの2か所
新設へ補助金

■市議会で「北朝鮮の核実験
に対する非難決議」採択

党市議団は決議には賛成しま
したが、同時に問題の解決には、
軍事的対応ではなく、対話によ
る平和的・外交的取り組みと、
国際社会が核兵器のない世界を
本気で目指すことこそが最も有
効であると考え、杉浦市議が討
論に立ちました。

